

令和2年度 第3回府中市男女共同参画推進協議会 次第

日 時：令和2年11月20日（金）
午前10時～

場 所：府中駅北第2庁舎 3階会議室

1 審議事項

(1) 府中市男女共同参画計画推進状況評価報告に係る第三者評価について

(2) 府中市男女共同参画の推進に関する事項について

2 その他

配付資料

資料1 府中市男女共同参画計画推進状況評価重点項目各委員評価
(前半修正版)

府中市男女共同参画計画推進状況評価重点項目各委員評価（前半修正版）

資料 1

【評価基準】 ※→は評価点数換算

| | |
|-------------------|-----|
| A…施策は非常に良好に進展している | → 5 |
| B…施策は、良好に進展している | → 4 |
| C…現状維持 | → 3 |
| D…施策がやや後退している | → 2 |
| E…後退している | → 1 |

| I あらゆる分野における男女共同参画 | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------|-----|--|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 社会・地域における男女共同参画 | | | 3 | 3 | 2 | 3 | 2 | 2 | 3 | 3 | 2 | 3 |
| (1) 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大 | | | 評価 | | | | | | | | | |
| 1 審議会などにおける男女それぞれの構成比率を35%以上に促進 | 政策課 | | C | C | D | C | D | D | C | C | D | C |

| | |
|---------------|-----|
| 評価平均 | 2.6 |
| 評価 | D |
| 第6次計画 事業番号 | 1 |

| | |
|--|--|
| コメント | ここ数年改善の兆しが見えない。基本計画に掲げている「40%」に向けた意気込みは全く感じられない。 |
| | 委員の選任については働きがけが難しい側面もあると思いますが、40%未満の機関について理由を確認されている等の取組は重要と思います。第6次総合計画後期基本計画の「40%」を目標値とされていますが、それと並行して年度ごとの目標があるとより良いのではと思います。 |
| | 3割の附属機関等が目標(35%)を達成しているものの女性委員が20%未満の機関等が24%あり、新たに入選が可能であったと思われる前年度記載のない5附属機関等のうち、目標達成は1のみ、1附属機関は0%であることから、昨年度と同じ評価としました。昨年度のコメントが生かされていない印象を受けます。長年主管課に働きかけても未達であるので、職員に周知する際は全附属機関等の構成比の実態を庁内に公表し、各附属機関等の委員の改選時期と女性委員の目標人数を一覧にして達成状況を進行管理していく、選出母体で女性を推薦できない場合はその理由と第6次計画期間中の推薦の見通しについて情報共有し、場合により推薦団体や構成の変更も検討する必要があると思います。女性委員の人数割合（全体）より、個々の附属機関等の達成状況で評価すべきだと思います。 |
| | 目標値にはまだ遠く、引き続き近づけられるよう工夫をお願いします。 |
| | 個々の附属機関が本気で考えていかないと、いくら担当部が働きかけても改善には限度がある。平成30年度は前年比△0.5ポイント、令和元年度は同+0.1ポイントと全く増加していない。40%に近づけるのは至難の業と言わざるを得ない。40%は「理想値」といえる。個々の附属機関のうち40%以下の先については、個別に目標値を設定させるのも一案であると考えます。 |
| | 毎年40%の目標を掲げながら達成できず、0.1%程度の改善しかできていない。（6年間横ばい）従来のやり方では40%達成はむずかしいのではないかと。「附属機関等の委員の選任に関する基準」自体を改定する必要があるのではないかと。目標の40%を確実に達成するために具体的な策をとっていただきたい。 |
| | 昨年ヒアリングにて協議会の意図を直接お伝えできたことで、政策課が委員選任を依頼する際の心構えに女性委員登用の意志が明確に感じられます。更なる飛躍に期待します。 |
| | 昨年の実績にそれまでなかった女性委員の割合が40%未満の機関に理由を確認した上で是非を促しているこの評価にしました。その理由がわかる事で、次の委員選任時に役立てて欲しい。 |
| | 取組が前年と同じで何を改善したのかが分からない。PDCAが不足していると感じる。 |
| 40%目指すという目標に対して、委員の選出団体への推進依頼をすることにとどまっているだけでは、目標達成は難しいと思います。具体的な手立ての検討が早急に必要であると思います。 | |
| 判定理由 及び 改善策の 提言など（案） | 目標値に達しておらず、一向に改善が見られないため、この評価としました。結果が出ないということは、これまでと同じやり方では改善されないということです。委員改選の時期なども考慮しながら審議会ごとに数値目標を定め、管理していく必要があります。「専門性が高い＝男性」という考えではなく、専門性の高い女性を探す努力をしてください。 |

| | | | | | | | | | | | |
|---------------------|--|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 3 | 4 | 3 | 3 | 2 | 2 | 3 | 3 | 2 | 3 |
| | | 評価 | | | | | | | | | |
| (5) 市職員などの男女共同参画の推進 | | C | B | C | C | D | D | C | C | D | C |

| | | | | | | | | | | | |
|--|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 21 女性職員の参画意識の向上 | 職員課 | | | | | | | | | | |
| コメント | 昇任試験の受験率が10%にも満たない理由は何か、原因を究明する必要があるのではないか。研修の参加人数も少ないように思われる。研修は受験資格対象者全員を参加させてはどうか。研修の日数や時間はこれでよいか、その内容はどうかなどさらに検討が必要。女性職員に主催者側の熱意（本気度）が伝わっていないのではないかと思う。 | | | | | | | | | | |
| | 新たに全職員を対象としたダイバーシティ研修を実施されるなど研修会も積極的に取り組まれており、昇任試験の受験率や合格者の上昇につながっているものと思います。また、活動実績もわかりやすく示していただいていると思います。引き続き、研修等の継続実施をお願いいたします。 | | | | | | | | | | |
| | 昇任試験の最終合格者数が増えているのでこの評価としました。まずは監督職（係長職）層を増やすことが重要と思うので、係長職昇任試験受験の支障となる事項があれば制度改正をしたり、テレワークなど職員が働きやすい職場環境づくりを進めていってほしいと思います。 | | | | | | | | | | |
| | 前年度と比べ結果は上昇しているが、管理職の女性が11%というのは意識啓発が不足かと思われる。 | | | | | | | | | | |
| | 現状、平成31年4月 11%、令和2年4月 10.2%と全く増加していない。20%以上に引き上げるのは抜本的な対策が必要である。昇任試験の実施だけでは限界があり、むしろ受験する女性職員に対して一定のインセンティブを与え、メリット（経済的メリット）を享受できる仕組みを構築するべきである。 | | | | | | | | | | |
| | （ア）の取り組みと実績をみるとよくやっているように見えるが、（オ）の計画及び目標をみると令和3年4月1日の管理職に占める女性比率を20%以上にする目標に対して、平成31年の11.0%から、10.2%に下がってしまったということがわかる。目標と実績をきちんと対比しないといいのか悪いのかもわかりにくい。 （オ）を見ると、来年度の「目標、20%の達成は難しい状況にある」と記載してあるが、その環境下、令和2年度は何%を目標とするのか、きちんと1年ごとの目標値を設定しないと永久に達成できないと懸念される。 | | | | | | | | | | |
| | 昇任試験の受験率や合格者数が上昇したことは一歩前進です。管理的地位にある職員に占める女性の割合が減っているのは何故か、分析と工夫が必要かと思えます。 | | | | | | | | | | |
| | 昇任試験の受験率は昨年よりは増えているものの、まだ低い数値と思われるので、この評価とした。対象者に受験しない理由をアンケートなどとしてみて、より受験しやすい環境をつくるのも良いと思う。 | | | | | | | | | | |
| | 研修だけで意欲が向上するとは思えない。もっと職場改革などを行い、女性が意欲が持てる様にして欲しい。 | | | | | | | | | | |
| 参画意識の向上に努めるとあるが、受験率を上げるには抜本的な見直しが必要ではないか。例えば一定の年数や資格保持者は全員受験するシステムの構築など。又、全員に面談実施など。 | | | | | | | | | | | |

| |
|------|
| 評価平均 |
| 2.8 |
| 評価 |
| C |

| |
|---------------|
| 第6次計画 事業番号 |
| 18 |

| | |
|-----------------------------------|---|
| 判定理由 及び 改善策の 提言など (案) | 女性の管理職の割合は低い水準を推移していますが、昨年度より昇任試験の合格者が増えているため、この評価としました。男性受験率との比較を行い、男女ともに受験率が増えるよう努めてください。また、研修は希望者のみのようですが、全員受講させ、若手の意識啓発を行うことや、育児休暇中の方でも昇任試験が受験ができるよう柔軟な対応をお願いします。現在、メンター・メンティー制度を検討されているようなので、今後の取組みに期待します。 |
|-----------------------------------|---|

2 教育の場における男女共同参画

(1) 学校における男女平等教育の推進

| | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-----|---|---|---|---|---|-------|---|---|---|---|---|
| | | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 評価 | | 2 | 3 | 3 | 3 |
| 32 発達段階に応じた性教育等の実施 | 指導室 | C | C | C | C | C | 評価できず | D | C | C | C | |

| |
|------|
| 評価平均 |
| 2.9 |
| 評価 |
| C |

| |
|---------------|
| 第6次計画 事業番号 |
| 20 |

| | |
|---|---|
| コメント | 2年度の計画に、家庭、地域との連携を推進するとあるが、具体的にはどのようなことを計画しているのか、詳しい記述があるとよりわかりやすい。 |
| | 各学校への指導等の取組は難しい側面があると思いますが、取組の実態が見えづらく感じました。「計画及び目標」に記載されていますように、家庭、地域との連携は重要だと思いますので、課題抽出や実態把握のための取組の検討等をお願いいたします。 |
| | 記載内容からは現状維持としか判断できません。学校現場への指導内容や学校での取組状況などを取組と実績欄に記載できないでしょうか。 数値目標が困難であるなら、「性教育の手引き」の活用方法や家庭、地域とのどのような連携を行うのかを具体的に計画欄に記載し、取組実績に報告するようにしていただきたいと思います。 |
| | 小学校での取り組み、中学校での取り組み等、もう少し具体的に明記しては。評価しにくいです。 |
| | マンネリ化しないよう継続的に実施してもらいたい。 |
| | 実際に指導室さんがどういう役割を果たしたのかが不明。（教育を行うのは学校ですよね？）例えば、時代に応じた性教育を学習の中に取り入れるための工夫をしたとか、実際にやったことを教えていただきたい。次年度の目標にも、数値目標でなくとも、どういう施策を打つ計画課を記載していただきたい。 |
| | 毎年のように依頼しているにもかかわらず、実績の報告の記載がなく残念です。若年期の性教育や男女平等の意識付けの重要性を貴課でもう一度じっくり考えていただきたいと思います。大いに期待しております。 |
| | 各学校において計画どおりに教育活動を行えたようなので、この評価とした。市内全ての学校で実施できたのか、目標とした地域との連携とはどのような方法でか具体的な事もわかると良いと思う。 |
| | 学習指導要領に従っているだけと感じる。保護者も明確な教育を受けていないと思いますので、教える時期や内容などの指針を提供して欲しい。 |
| 「今後も継続」としか表記がないことに次への対策案の検討が急務だと思われまます。 | |

| | |
|-----------------------------------|--|
| 判定理由 及び 改善策の 提言など (案) | 記載内容からは現状維持としか判断できません。この記載だと内容が乏しく、指導室がどういう役割を果たしたのかが不明で判断ができません。「学習指導要領に基づき」や「計画どおり」とありますが、各学校の内容や実績についてどのように把握・確認しているのでしょうか。具体的な記述をお願いします。 |
|-----------------------------------|--|

Ⅱ ワーク・ライフ・バランスの推進

1 仕事と生活の両立支援推進 3 3 3 3 3 2 3 3 3 3

(3) 地域での子育て支援 評価

52 子ども家庭支援事業の拡充 子ども家庭支援課 C C C C C D C C C C

| |
|------|
| 評価平均 |
| 2.9 |
| 評価 |
| C |

| |
|---------------|
| 第6次計画 事業番号 |
| 42 |

すべての事業において利用者が減ってきている。原因の究明が必要。

コロナの影響等もあり利用者数が前年度から減少したものと推察いたしますが、需要が大きく、そうした中、支援を継続実施されているのは体制の整備や周知活動等による成果と思います。他の課との連携等含め、引き続きの支援拡大に努めていただきますよう、お願いいたします。

利用者の減少はあるもののほぼ現状維持ができていると判断しました。交流事業や子供を預かる事業での新型コロナウイルス感染防止対策を実施するようにお願いします。

子どもの人数減少のため、利用者減なのかどうか…。サービスを必要な方に提供できたことは評価できます。

支援センターの利用者数、支援ボランティア養成講座の参加者数とも前年比減少しているが、概ね必要なサービスは適切に提供されていると指向する。

評価は3となっているが、数値目標を全く達成できていない。(13万人、3100人、1回/20人)人数が下回ったことをどう評価しているのか？令和2年度の人數目標(11万人、2800人)が30年度の実績を下回っている。なぜ、30年度よりも下回る目標値を設定したのか？根拠は？
今後の課題に書いてあることを具体的な施策目標としてみてはどうか？(メール配信サービスの活用、子育て情報誌サイトによる広報活動の具体案、等)

コロナ禍で対応が難しい中、利用者が相変わらず多いので、貴課の対応には感謝いたします。支援ボランティア養成講座につきましては、開催回数の増加や内容の充実を期待します。

交流ひろば、リフレッシュ保育の利用者数は減少しているが、コロナの状況の為と思われるので、この評価としました。今後の課題にもあるように子育て支援ボランティア養成講座の参加者数を増やす努力は大事だと思う。

現状維持。もっと各サービスの内容を充実させ、人数を増やして欲しい。

事業を継続するという中で、「設定がなじまないものについては行わない」とあるが、このようになじまないものに対する検討をぜひして頂きたいと思います。

判定理由及び改善策の提言など(案)
利用者・参加者が減少していますが、現状維持ができていると判断し、この評価としました。しかし、目標値には届ておりませんので、原因究明と改善をお願いします。また、ヒアリングでは、子育てボランティア講座について、開催回数及び参加者が少ないことを伺いました。年2回だと興味があっても参加できない方も多いと思います。開催時期や回数についても再度検討をお願いします。さらに、メール相談なども東京都との関係もありますが、積極的に検討・実施をお願いいたします。今後も新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いつつ、サービスの充実を図ってください。

3 介護支援

(1) 高齢者・障害者・介護者支援などの充実

| | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|-------|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 3 | 3 | 4 | 3 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 |
| | | 評価 | | | | | | | | | |
| 58② 介護保険事業など福祉サービスの充実 | 介護保険課 | C | C | B | C | B | C | C | C | C | D |

| |
|------|
| 評価平均 |
| 3.1 |
| 評価 |
| 3 |

| |
|---------------|
| 第6次計画 事業番号 |
| 48 |

| | |
|--|--|
| | 福祉サービスを必要とする市民に届くために、広報以外の方法もぜひ模索していただきたい。 |
| | 年度末対象者の人数（＝利用者数？）を記載いただいておりますが、利用率は増加しているのでしょうか。認定証の発行等、具体的な取組についてわかりやすく示していただいていると思います。引き続きの取組推進に努めていただきますようお願いいたします。 |
| | 高齢者の増加に伴い対象者増が予想されるので対象者が確実にサービスを受けられるように予算措置と制度周知に取り組んでいただきたい。 男女共同参画計画では「Ⅱワークライフバランスの推進」のための「3介護支援」であり、そのための介護保険事業などの充実が項目であることを考えると、なぜ、低所得者向けサービスのみが計画・目標となっているのか疑問です。男女の介護負担の軽減のための事業という視点から目標を現事項に追加して設定した方がいいと思います。 |
| | 高齢で低所得の方（対象者）を把握しているのであれば、具合の悪い方にケアマネを通じて早急に発行すべき。 |
| | 事業は順調に推移しており、また認定証の発行をするなど具体的な対策を講じている。 |
| | 実際にはいろいろ活動されているのだと思いますが、全くその中身が見えてきません。 目標を周知方法（内容や回数等）にすれば、活動内容を正當に評価できるのではないのでしょうか？もしくは、年度末対象者を3%アップ、等にする？（もちろん、その根拠は必要ですが） |
| | 今後対象者が増加すると思われることから、引き続き対応をお願いします。 |
| | 対象者と利用者が同じだとすれば前年同様に実施できているので、この評価としました。引き続き制度周知を進めて欲しいです。 |
| | 今後も市民への周知を継続して欲しいと思います。 |
| | 数値目標の設定がなじまないのであれば、わかるように表記で計画の説明があるといいと思います。制度の周知は引き続き実施が必要と思います。 |

| | |
|--------------------------|--|
| 判定理由及び改善策の提言など（案） | 前年度と同様に実施できているため、この評価としました。今後も対象者が増加することが予想されますので、予算の拡充や制度周知に取り組んでください。特に周知活動については、パソコンやスマートフォンなどを利用していない高齢者や低所得者の方へもしっかりと届くよう工夫をお願いします。また、次回以降、対象者に対する利用率の記載と、目標を周知方法にするなど数値化できる設定の検討をお願いします。 |
|--------------------------|--|

Ⅲ 人権が尊重される社会の形成

2 人権の尊重

3 4 4 4 3 3 3 4 3 3

(1) 家庭内暴力などの根絶に向けた取組の推進

評価

69② 児童虐待を防ぐための意識啓発 子ども家庭支援課

C B B B C C C B C C

| |
|------|
| 評価平均 |
| 3.4 |
| 評価 |
| C |

| |
|---------------|
| 第6次計画 事業番号 |
| 58 |

コロナの影響で対応が難しくなっていると想像します。一方で、コロナ禍でDVや児童虐待が増えているとも言われています。新しい取り組みなどの検討をお願いしたい。

コロナ禍における対応含め、妊娠届の全数面接を実施されたことは重要な活動成果と思います。外国人への対応に関する課題抽出等の記載があるとより良いと思います。引き続きの取組推進に努めていただきますよう、お願いいたします。

記載内容から、妊娠届出者の全数面接から要支援者を把握し、早期支援体制をとるといことと理解するのでしょうか、であれば、この事業内容は、事業項目69「事業虐待を防ぐための意識啓発」より、同71の「児童虐待防止への対応」に組み入れた方がわかりやすいと思います。

元年度の計画及び目標を関係機関と連携しながら達成したため、この評価としました。

なし

計画及び目標には、「産後ケア事業の開始」とあるが、この点については達成できたのでしょうか？
次年度の計画、目標は数値目標が書けなくても、施策をもっと具体的に記載していただかないと評価ができない。

30年度とR1年度の妊娠届出数がピッタリ一緒なのですが、まちがえありませんか。H30年度は面接数と未実施数の合計が届出数になりますが、R1年度は19件の差があるのは何故ですか。コロナ禍でいろいろと対応が大変かと思いますが、こういう時だからこそ、よりきめ細やかな対応を強く希望します。

前年同様、妊娠届の全数面接を実施でき、必要な方には早期に対応できている事から、この評価にしました。コロナの影響で今までと違う状況も出てきているが、合わせた対応をされているのも良いと思う。

継続して対応をお願いします。保健師のフォローは、オンライン面談なども導入してみたい。

思いもよらぬコロナ禍で見えない支援者の的確な把握と早期支援については、さらに相談や連携の細やかさが求められると思います。

判定理由
及び
改善策の
提言など
(案)

前年度同様、妊娠届の全数面接を実施するなど目標を達しているため、この評価としました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で対応が難しくなっている一方で、DVや児童虐待が増えているとも言われています。早期支援や他機関との連携強化のほか、定期的なフォローにオンライン面談を実施するなどの検討をお願いします。

3 生涯を通じた健康支援

3 3 4 3 3 3 3 3 3 3

(1) 生涯を通じた健康保持・増進支援

| | | | | | | | | | | | |
|----------------|--------|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 83 介護予防への取組の充実 | 高齢者支援課 | 評価 | | | | | | | | | |
| | | C | C | B | C | C | C | C | C | C | C |

| |
|------|
| 評価平均 |
| 3.1 |
| 評価 |
| C |

| |
|---------------|
| 第6次計画 事業番号 |
| 10 |

| | |
|--|---|
| 83 介護予防への取組の充実 | 住民主体による介護予防の取組とあるが、具体的にどのようなことか、詳しい記述があるとよりわかりやすい。 |
| | 介護予防教室利用者数として利用実績を記載いただいておりますが、介護予防教室や講座に関する活動実績が明記されるとより良いように思います。コロナ禍でも取組を進められているのは重要な活動成果と 생각합니다。 |
| | 住民主体の介護予防の取組が行われる場を増やすとありますが 具体的にどのようなことでしょうか。介護予防教室や講座等の参加者のその後の状況もアンケートなどで把握できるとよいと思います。 新型コロナウイルス感染防止のため1回当たりの参加人数を制限して実施回数を増やしたり、オンラインでも受講できる講座を実施したり工夫をしてください。 |
| | コロナ禍にも拘わらず予防教室利用者数が少し減少であったため。又、楽しいとの声もあるがこの評価としました。予防教室、楽しい内容なら参加者はもっと増えると思います。 |
| | 取組みは順調に推移しており、引き続きコロナ対応に留意しながら支援していただきたい。 |
| | 介護予防推進センターの利用者数は昨年度よりも増えたが、地域包括支援センター利用者が減少したため。 「住民主体により介護予防の取組が行われる場を増やしていけるよう、介護予防推進センターや地域包括支援センターによる継続的な支援が必要」ということだが、具体的にどのようなことなのか、年度ごとに考えていく必要があると思う。次年度は具体的にどんな手を打つのか、計画、目標に具体的に記載していただきたい。 |
| | コロナ禍にあって在宅が増えると、介護予防の推進は難しいかもしれませんが、何かと知恵を出し合って、自分らしく自立して生活していられるよう支援を続けていただきたいです。 |
| | 介護予防教室の利用者数も前年と同じ程度あるので、この評価としました。介護予防は継続が大切なので、コロナ感染予防に対応しながら、続けてほしい。 |
| | 継続をお願いします。ただし、今後は介護がもっと増えると思いますので、講座内容の充実などをお願いします。 |
| 地域を見ていると住民主体で取り組まれている支援がすすんでいるという表現は疑問に思う。わかりにくいと思います。 | |

| | |
|-----------------------------------|---|
| 判定理由 及び 改善策の 提言など (案) | コロナ禍にも関わらず、利用者も前年度と同程度であることから、この評価としました。評価の内容や課題に記載されている「住民主体による介護予防」については、もう少し詳しく記載していただきたいです。 今後も介護予防の需要が増加すると思いますので、オンライン講座や1回当たりの参加人数を制限して実施回数を増やすなど工夫しながら行ってください。 |
|-----------------------------------|---|

IV 男女共同参画社会づくり

1 普及・啓発活動の推進

3 4 4 3 3 4 3 3 4 4

(1) 広報・啓発活動の充実

| | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|-----------|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 92 男女共同参画についての講座等による意識啓発 | 地域コミュニティ課 | 評価 | | | | | | | | | |
| | | C | B | B | C | C | D | C | C | B | B |

| |
|------|
| 評価平均 |
| 3.5 |
| 評価 |
| B |

| |
|---------------|
| 第6次計画 事業番号 |
| 73 |

| | |
|------|---|
| コメント | <p>男性の参加者を増やすことに注目し取り組んでいることは評価できる。コロナ対応を機に、オンライン講座など新しい取組にも力を入れてほしい。</p> |
| | <p>実績の経年変化が示されているとともに課題分析もされており、詳細に実態を示していただいていると思います。オンライン開催への切り替えは主催者側の負担が大きいと思いますが、オンラインにすることにより参加者数の増加も見込まれますので、引き続きの検討、整備をお願いいたします。</p> |
| | <p>新型コロナウイルス感染拡大により中止になったことはやむを得ないと考えこのような評価としました。実績欄には講座の内容（テーマ、講師名等）を例示でいいので、記載してほしいと思います。男性の参加率30%を20%以上と下方修正する必要はないと思います。新型コロナウイルス感染防止及び男性の参加しやすさのためにもオンライン講座は実施していただきたい。</p> |
| | <p>男性参加者を増やすため参加したくなる講座の企画を。</p> |
| | <p>コロナの影響もあり、一概に比較はできないが概ね順調に推移している。男性参加者30%を目指すにはもっと抜本的な施策が必要であると考えます。</p> |
| | <p>男性参加者の比率は30%の目標に対して14.4%であったから。男性参加者を増やすために、どんな手を打てば有効なのか検討していただきたい。</p> |
| | <p>新型コロナウイルス感染症によって、今までとはちがう講座のあり方やコミュニティの作り方が必要となりました。チャンスととらえて、是非新しい取り組みを考えていただきたいと思います。</p> |
| | <p>講座数は年々増えているが、参加者にはバラつきがあるので、この評価としました。今後、オンライン講座がある事により参加しやすい人も多いと思うので、ぜひ早めに整えて欲しい。</p> |

| | |
|-------------------|--|
| 判定理由及び改善策の提言など(案) | <p>新型コロナウイルス感染拡大により、中止となった講座がある一方で、講座数は増加しており、順調に施策が展開されていると判断し、この評価としました。オンライン講座は、感染予防だけでなく、気軽に参加しやすくなると思いますので、是非実施してください。また、男性の参加者を増やすため、様々な方法を検討し、実施してください。</p> |
|-------------------|--|